

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場会社名 株式会社 ジー・モード  
 コード番号 2333 URL <http://www.G-mode.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 JQ

(氏名) 宮路 武  
 (氏名) 善村 賢治

TEL 03-5456-3780

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,171	2.7	20	—	25	—	29	—
21年3月期第1四半期	1,140	—	△118	—	△82	—	△80	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	261.71	—
21年3月期第1四半期	△712.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
22年3月期第1四半期	4,621	—	3,926	—	84.8	—	34,639.08	
21年3月期	4,656	—	3,908	—	83.8	—	34,478.84	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 3,920百万円 21年3月期 3,902百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	2,437	6.1	△254	—	△242	—	△238	—	△2,102.79	
通期	5,355	13.9	6	—	29	—	15	—	132.53	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
  - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |          |             |          |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第1四半期 | 113,183株 | 21年3月期      | 113,183株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第1四半期 | —株       | 21年3月期      | —株       |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 113,183株 | 21年3月期第1四半期 | 113,183株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月7日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予測に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間における国内携帯電話市場は、携帯電話事業者各社による夏季商戦に向けた新機種的大量投入に加え、2台目需要の高まりや解約率の低下などにより、期間累計契約数は堅調に推移しております。また、第3世代携帯電話(3G)サービスの累計契約数は今年4月で1億件を突破し、端末機能の多様化やネットワークゲーム、映像・音楽といったコンテンツやeラーニングなどブロードバンドコンテンツの利用拡大に加え、データ通信料金の値下げ競争や固定ブロードバンド回線への代替化などを背景にパケット定額サービスの加入者数も急速に拡大しております。こうした状況の中、Android等のオープン・プラットフォームの登場によって、携帯端末を高機能化したスマートフォンが国内キャリアから続々と投入されるなど、モバイル環境における端末のイノベーションが急速に進展しております。さらに、移動通信網においては、モバイルWiMAXや次世代PHS「XGP」に続き、2010年には3.9世代携帯電話(3.9G)サービスの開始が予定されるなど、モバイル・ネットワークの高速化・大容量化が今後一層加速するものと思われま

す。一方、モバイルコンテンツ市場におきましては、モバイルとリアルビジネスの融合や異業種とのオープン連携による新規事業者の参入と新たなサービスの創出がさらに活発化しております。また、一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF)が、今後3Gインフラ構築の本格化と3Gコンテンツの需要拡大が期待される中国への進出に向けて、国内モバイルコンテンツプロバイダによる新市場開拓を支援・推進するため、中国の通信事業者と日本の3団体からなる「日中モバイルブロードバンド合作推進会」を設立するなど、モバイルコンテンツ市場の「ボーダレス化」と「グローバル化」が一段と加速しております。

このような経営環境の下、国内事業本部の組織体制を従来の6部制から14部・6ユニット制へと再編することで、意思決定の迅速化と収益管理体制の整備、新規サービスへの対応力を強化し、自主的で機動力のある組織体制へと変革を図るとともに、アプリ開発コストや外注コストの削減に取り組ま

ました。また、部門間の連携強化による業務効率の向上とオフィス関連コストの恒常的削減に向けて、新社屋への移転を実施するなど、今期単年度黒字化の実現に向けた抜本的構造改革による収益・利益確保のための各種施策に積極的に取り組ま

ました。併せて、経営体制の充実を図るため、同社からの社外取締役2名の受入れを実施いたしました。

#### ①国内コンテンツ配信事業

当社の主力事業である国内コンテンツ配信事業におきましては、公式コンテンツビジネスが全体的に低調な中、サイトへの誘導強化や会員の退会率抑制に努めたことで、売上高は堅調に推移しました。

まず、気軽に楽しめるカジュアルゲームで幅広い層をターゲットとした総合ゲームサイト「テトリス&Getブチアプリ」におきましては、「空気読み。」が株式会社ディー・ツー・コミュニケーションズ主催の第8回モバイル広告大賞を受賞するなど、引き続き高い集客効果を維持し、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ(以下、「NTTドコモ」という。)のiモード向けおよび株式会社ソフトバンクモバイル(以下、「ソフトバンクモバイル」という。)のYahoo!ケータイ向けのサイトがともに計画を上回る売上高を達成いたしました。

一方、パズル、スポーツ、RPG、対戦などターゲット層を絞った専門ゲームサイトにおきましては、サイトリニューアルなどで入会率を高める施策などを展開しており、第2四半期以降にその効果が期待できます。

中でも、対戦系サイトで展開する「TETRIS LEAGUE(テトリスリーグ)」は、配信からわずか5ヵ月間で1000万対戦を突破するなど、今年6月6日に25周年の節目を迎えたテトリスの新しい形として幅広い利用者を楽しまれています。

さらに、昨今、青少年に対する有害情報が問題になる中、自主的にサイトの健全化に力を注ぎ、総合ゲームサイトと専門ゲームサイトのポータル的な位置づけとなるサイトの名称を「Gモードスタイル」と改称し、だれもが安心して楽しめるサイト作りを行っております。

この結果、本事業セグメントの売上高は1,126百万円となり、前年同期比3.2%の増加となりました。

## ②カジュアルコミュニケーション事業

カジュアルコミュニケーション事業におきましては、NTTドコモのiモード、ソフトバンクモバイルのYahoo!ケータイ並びにKDDI株式会社（以下、「KDDI」という。）のEZweb公式サイト内に電子コミックサイト「どこでも暇つぶしコミック」を開設し、当社人気コンテンツのオリジナルコミックに加え、大手出版社のメジャータイトルの配信を開始いたしました。また、「ケータイサイト全部無料」をコンセプトに、複数の無料ケータイサイトが有機的に繋がる複合エンタメ・コミュニティサービス「わいわいサービス」においては、パズルサイト「執事にお願ひ〜パズルの部屋〜」、オリジナル占いサイト「わいわい占い」、待ち受けサイト「まちうけPW (Project Witch)」の3サイトを新たに投入し、サービスの拡充と事業基盤の拡大に注力いたしました。

この結果、本事業セグメントの売上高は人気家庭用ゲーム機「Wii(R)」のゲームダウンロードサービス「WiiウェアTM」向け配信による売上も含め2百万円となりました。

## ③海外事業

海外におけるゲームコンテンツ配信におきましては、Androidを搭載した携帯電話向けにアプリケーションを配信する「Android Market」において、弊社の人気ゲーム「ケータイ少女」のキャラクターが登場するソリティアゲーム「Keitai Shoujo Solitaire」シリーズとして3タイトル(「Spider」・「FreeCell」・「Klondike」)に加え、データイースト社の名作アクションパズル「Magical Drop Touch」の配信サービスを開始いたしました。さらに、iPhone向けコンテンツの開発とオープンプラットフォーム向けポータルサイトの制作などに取組みました。

この結果、本事業セグメントの売上高は11百万円となりました。

## ④その他の事業

その他の事業におきましては、DSiウェアTMで配信を開始した「空気読み。DS」が順調な滑り出しを見せ、また、ケータイ少女やゆるゆるフレンズに関連したライセンス関連のビジネス、株式会社アコースティックの動画ソフトウェア(movie4u)ライセンスなどが売上に貢献いたしました。

この結果、本事業セグメントの売上高は30百万円となり、前年同期比11.8%の増加となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,171百万円となり、前年同期比2.7%の増加となりました。損益面におきましては、外注費に加え、研究開発費や支払手数料などが前年同期に比べ減少したことにより、営業利益は20百万円となり、売上高営業利益率は1.8%と12.2ポイント改善しました。この結果、経常利益は25百万円、関係会社株式売却益を計上したことなどにより、四半期純利益は29百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

#### ①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末より35百万円減少（前期末比0.8%減）し、4,621百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より12百万円増加（前期末比0.3%増）し、3,758百万円となりました。主な要因は現金及び預金の減少42百万円、受取手形及び売掛金の減少98百万円、その他の構成科目である未収入金の増加169百万円であります。固定資産は、前連結会計年度末より47百万円減少（前期末比5.2%減）し、862百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による増加86百万円、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却による減少11百万円、投資その他の資産のその他の構成科目である敷金の減少108百万円でありま

#### ②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より53百万円減少（前期末比7.2%減）し、694百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の減少51百万円、事業構造改革引当金の減少32百万円、その他の構成科目である未払金の増加49百万円であります。

#### ③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より18百万円増加（前期末比0.5%増）し、3,926百万円となりました。主な要因は四半期純利益の計上による利益剰余金の増加29百万円でありま

す。なお、繰越利益剰余金の欠損填補を目的として資本剰余金2,427百万円を利益剰余金へ振替えておりま

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,995百万円（前年同期末2,052百万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、2百万円の資金獲得（前年同期270百万円の資金使用）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益33百万円、事業構造改革引当金の減少額32百万円、売上債権の減少額64百万円、たな卸資産の増加額50百万円、前渡金の減少額29百万円、未払金の減少額36百万円であります。

### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、45百万円の資金使用（前年同期14百万円の資金使用）となりました。主な要因は敷金の差入による支出60百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入16百万円であります。

### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、0百万円の資金使用（前年同期0百万円の資金使用）となりました。要因は配当金の支払額0百万円であります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績につきましては概ね計画どおりに推移していることから、平成21年5月7日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の変更はしておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,012,030	2,054,479
受取手形及び売掛金	1,224,818	1,322,828
商品及び製品	6,914	—
仕掛品	168,687	118,410
原材料及び貯蔵品	28	7,777
未収還付法人税等	4,962	4,540
繰延税金資産	805	824
その他	346,812	244,608
貸倒引当金	△6,492	△7,009
流動資産合計	3,758,569	3,746,460
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	84,879	4,485
工具、器具及び備品（純額）	28,518	28,329
有形固定資産合計	113,397	32,815
無形固定資産		
のれん	65,196	67,804
その他	43,457	48,599
無形固定資産合計	108,653	116,403
投資その他の資産		
投資有価証券	35,940	37,730
長期貸付金	477,000	477,000
破産更生債権等	1,493,481	1,495,000
繰延税金資産	1,991	1,611
その他	125,927	243,311
貸倒引当金	△1,493,481	△1,493,481
投資その他の資産合計	640,859	761,171
固定資産合計	862,910	910,389
資産合計	4,621,480	4,656,850

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	248,139	300,002
未払法人税等	7,175	8,943
賞与引当金	5,400	—
繰延税金負債	11,207	15,319
事業構造改革引当金	31,868	64,867
その他	391,079	356,024
流動負債合計	694,869	745,158
固定負債		
繰延税金負債	—	3,459
固定負債合計	—	3,459
負債合計	694,869	748,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,320,723	3,320,723
資本剰余金	551,066	2,978,396
利益剰余金	34,138	△2,422,812
株主資本合計	3,905,928	3,876,307
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,709	△1,261
繰延ヘッジ損益	16,336	27,372
評価・換算差額等合計	14,626	26,111
少数株主持分	6,055	5,813
純資産合計	3,926,610	3,908,232
負債純資産合計	4,621,480	4,656,850

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,140,324	1,171,068
売上原価	761,427	693,522
売上総利益	378,896	477,546
販売費及び一般管理費	497,422	456,630
営業利益又は営業損失(△)	△118,526	20,915
営業外収益		
受取利息	33,768	5,834
為替差益	2,655	—
その他	1,347	455
営業外収益合計	37,771	6,289
営業外費用		
持分法による投資損失	2,015	—
為替差損	—	511
投資事業組合運用損	—	844
営業外費用合計	2,015	1,355
経常利益又は経常損失(△)	△82,770	25,850
特別利益		
関係会社株式売却益	—	8,189
特別利益合計	—	8,189
特別損失		
固定資産除却損	254	59
和解金	750	—
特別損失合計	1,004	59
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83,775	33,980
法人税、住民税及び事業税	9,319	4,479
法人税等調整額	△12,861	△361
法人税等合計	△3,542	4,118
少数株主利益	384	241
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△80,617	29,620

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83,775	33,980
減価償却費	14,815	11,235
のれん償却額	2,644	2,607
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△420	△517
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,400	5,400
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	—	△32,999
受取利息及び受取配当金	△33,768	△5,834
為替差損益(△は益)	△572	120
投資事業組合運用損益(△は益)	—	844
持分法による投資損益(△は益)	2,015	—
固定資産除却損	254	59
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△8,189
和解金	750	—
売上債権の増減額(△は増加)	33,975	64,269
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,407	△50,412
前渡金の増減額(△は増加)	△119,140	29,015
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,779	△31,952
未払金の増減額(△は減少)	△71,393	△36,228
その他	3,795	19,431
小計	△288,605	830
利息及び配当金の受取額	38,889	10,824
和解金の支払額	△750	—
法人税等の支払額	△19,682	△9,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	△270,148	2,468
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300	△300
有形固定資産の取得による支出	△1,654	△2,437
無形固定資産の取得による支出	△3,325	—
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
敷金の差入による支出	—	△60,621
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	16,341
その他	562	2,015
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,717	△45,001

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△238	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238	△95
現金及び現金同等物に係る換算差額	572	△120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△284,531	△42,748
現金及び現金同等物の期首残高	2,336,565	2,037,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,052,033	1,995,163

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	国内コンテンツ配信事業 (千円)	カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	海外事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,091,603	3,577	17,672	27,470	1,140,324	—	1,140,324
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,091,603	3,577	17,672	27,470	1,140,324	—	1,140,324
営業利益又は営業損失(△)	211,703	△105,122	△9,559	10,851	107,873	(226,399)	△118,526

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	国内コンテンツ配信事業 (千円)	カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	海外事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,126,315	2,154	11,897	30,701	1,171,068	—	1,171,068
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	420	420	(420)	—
計	1,126,315	2,154	11,897	31,121	1,171,488	(420)	1,171,068
営業利益又は営業損失(△)	286,777	△76,866	△3,441	5,357	211,827	(190,912)	20,915

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、サービスの系列性、市場の類似性等を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
国内コンテンツ配信事業	携帯電話向けゲームコンテンツ及び着メロの企画・開発・運営
カジュアルコミュニケーション事業	携帯電話一般サイトや各種メディアデバイス等を利用したインターネットカジュアルコミュニティサービスの企画・開発・運営
海外事業	携帯電話向けゲームコンテンツの配信及びライセンス供与等
その他の事業	携帯電話向けゲームコンテンツ、動画配信ツール及び着メロ制作ツールのライセンス供与等

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年5月21日の取締役会決議に基づき、繰越利益剰余金の欠損填補を目的として資本剰余金2,427,330千円を利益剰余金に振替えております。

## 6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
国内コンテンツ配信事業 (千円)	122,169	83.6
カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	5,086	10.4
海外事業 (千円)	—	—
その他の事業 (千円)	9,805	97.6
合計 (千円)	137,060	66.3

- (注) 1. 金額は、当期製品製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 受注実績

当社企業グループは、一部受注生産を行っておりますが、販売実績に占める受注販売実績割合の重要性が乏しいため記載を省略しております。

### (3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
国内コンテンツ配信事業 (千円)	1,126,315	103.2
カジュアルコミュニケーション事業 (千円)	2,154	60.2
海外事業 (千円)	11,897	67.3
その他の事業 (千円)	30,701	111.8
合計 (千円)	1,171,068	102.7

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

なお、NTTドコモ、KDDI及びソフトバンクモバイルに対する販売実績は、当社企業グループがNTTドコモのiモード、KDDIのEZweb及びソフトバンクモバイルのYahoo!ケータイを介して行う有料情報サービスの利用者（一般ユーザー）に対する情報料の総額であります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
NTTドコモ	704,105	61.7	731,168	62.4
KDDI	222,244	19.5	227,447	19.4
ソフトバンクモバイル	98,963	8.7	99,353	8.5

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。